

# 「ニューヨークは今何時？」(時差)

活動展開例

【ねらい】

コミュニケーション活動	いろいろな都市の時刻を聞いたり答えたりしながら、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする。
言語・文化の理解	時差があるために、世界の人々がそれぞれ異なる時間帯で生活していることや、東西に広い国では国内にも複数の時間帯があることなどを理解する。また、常にお互いの時差を考慮しながら、相手の時刻を考えて行動することは国際社会のマナーのひとつであることに気付く。

【主な言語材料】

・ What time is it in (New York) now ? It's (11:00).

【準備】

教師	時差時計、クリップ、ワークシート、「自由の女神像」の写真、「正時を示す時計」の絵
児童	はさみ

【展開】

時間	活動内容 ねらい	留意点	教師の動き	予想される児童の反応
5分	1 英語であいさつをする。 明るく元気な雰囲気を作る。		1 元気よくあいさつをする。  Hello, everyone. How are you?  Hello. I'm fine. (good, OK, so so, tired, hungry,.....)	
	2 「自由の女神像」がニューヨークにあることを知る。 ニューヨークに興味をもたせる。		2 「自由の女神像」の写真を使って発問する。  What is this?  * すぐに答えが分からないよう、 <u>少しずつ写真を見せていく。</u>  自由の女神  Yes. Good. This is 自由の女神。 Where is this? In Tokyo? In Osaka? In Australia?.....  アメリカ  America,.....good. Where is it in America? (アメリカのどこだと思う)  ニューヨーク  New York. Yes, that's right.	
	3 TVの衛星中継の様子を思い出しながら時差について考える。		3 時差について関心をもてるように、衛星中継の話題を取り上げる。  ところでみんなは、ニューヨークといえば、他に何を思い出し	

日本とニューヨークとの間には時差があることに気付けるようにする。

ますか。

ヤンキース。メッツ。9.11。スシレストラン。・・・

先生の場合は、ヤンキースの松井選手です。時々、TVでヤンキースの試合を見るけれど、この前、朝早く試合をやっていたんだよ。どうして、あんなに朝早くから野球をしているの。アメリカ人は、みんな早起きなの。

地球の自転や太陽との位置関係についての発言が児童から出されたら、ぜひ共通の話題として採り上げたい。

違うよ。「時差」があるからだよ。  
日本とニューヨークとでは時間が違うからだよ。  
サッカーのW杯も朝早くやっていたよ。

児童の知的好奇心を高め、次の活動へとつなげたい。

「時差」.....Yes, that's right. よく知っていましたね。  
実は、日本とニューヨークとでは時刻が違うのです。同じ地球なのに、不思議だとは思いませんか？  
今日は、時差について考えていきましょう。

↑  
↓

4 ニューヨークの時間について考える。

4 日本とニューヨークの時間を比較できるようにする。

日本とニューヨークとの間の時差を意識させる。

OK. Please look at the clock. What time is it now?  
It's ~~~~~

It's ~.の表現を用いて英語で答えるよう促す。

11時。It's eleven.

英語での11や12の発音が難しい場合は、数回練習する。

OK. It's eleven in Japan.  
What time is it in New York now?



.....? え～、分からない。

5 時差時計を組み立てる。

5 時差時計の用紙を配布する。  
(すぐに作らずに、完成品を見せ児童が興味をもてるようにする。)

時差時計の作成

これ何ですか。

時刻は 時 分の表現が難しいため、11時のようにちょうど 時の時刻を扱うよう配慮する。  
o'clockは省略する。

This is a “時差時計”.  
これは、今現在の世界の時刻が分かる時計です。  
Please look at me.  
Please cut this paper like this.(実演をしながら説明する)  
中心を重ねて、最後に中心をクリップで留めます。

6 時差時計を見ながら各都市の時刻を答える。

6 全ての児童が完成したら、ニューヨークの時刻について再び発問する。(他の都市についてもいくつか聞いてみる)

時差時計の使い方を

OK. Now it's 11 a.m. in Japan (Gunma).

15分

覚えさせるとともに、時差への興味をもたせる。

a.m., p.m. を用いることで午前と午後との違いを理解させる。

お昼の12時は、a.m.でも p.m.でもなく、「12 noon (正午)」を使う。真夜中の12時は、「12 midnight」を使うのが普通である。

サマータイムの季節であっても、児童の混乱を防ぐため、同時には扱わない。

児童が時差について「なぜだろう？」と興味・関心を示す話題を提供したい。



7 活動のルールを知る。  
活動内容の確認



クラスの実態に応じて、児童が理解しやすいようにルールを説明する。

ワークシートの使

What time is it in New York now?

It's 9 p.m.

Good. That's right. 夜の9時だったんだね。だから日本が朝なのにニューヨークでは野球の試合をやっていたんだね。でも、不思議じゃない？ 時刻が違うっていうのは…。例えば、今、日本とニューヨークで同時に赤ちゃんが産まれたとしたらどうだろう？ 日本では「昼の11時に誕生」でも、ニューヨークでは「前日の夜の9時に誕生」ということになるんだよ。同時に産まれた赤ちゃんなのに、誕生日が1日ずれるなんて不思議でしょう。

不思議だぁ。 えー、何でだろう？

他の都市は、今何時なんだろう？ 時差時計を使って調べてみましょう。

OK. What time is it in London now?

It's 2 a.m.

Good. That's right. ロンドンは、今、夜中の2時なんだね。イギリスの人は、みんなぐっすり眠っているのかな？  
What time is it in Honolulu now?

It's 4 p.m.

OK. That's right. ハワイは、今、午後4時なんだね。小学生は何をしているところかな？  
・・・時差時計の使い方は分かりましたね。



7 ワークシート（世界地図）を配り、活動の説明をする。

では、時差についてのワークシートを配ります。

\*ワークシートを配る。

英語を話しながら、ワークシート（世界地図）の空欄に時刻を書き入れてもらいます。では、今からルールを説明します。

クラスをA、Bの二つのグループに分ける。

\*学級の実態に応じて活動しやすいように編成する。

Aグループは、時差時計を見ずにBグループに質問し、ワークシートに記入する。

Bグループは、時差時計を見て質問に答える。

途中（5分程度）でA、Bの役割を交代する。

い方を理解できるようにするとともに、基準となる時刻を明確にするために、「11:00 a.m.」と記入するよう伝える。

8 時刻を聞く場合の会話練習をする。英語を使うことに自信をもてるようにする。

児童が自信をもって楽しく活動できるように十分に練習する。

「in ~」の部分では、都市名を入れ換えて練習する。

発展的な活動として、より自然な会話にするために「Excuse me.」「Thank you.」などの言葉を付け足すこともできる。

都市名については、難易度を考慮し、カタカナ表記と同じ発音でよいこととする。

20分

ルールは分かりましたか。  
次に、群馬の空欄に「今の時刻」を記入してください。今、実際は11時15分ですが、分かりやすく「11時ちょうど」とします。a.m.やp.m.も記入し、午前と午後とを区別しましょう。

8 自信をもって活動に取り組めるよう会話で扱う表現を練習する。

では、会話の練習をします。

What time is it in London now?

What time is it in London now?

It's 2 a.m.

It's 2 a.m.

What time is it in ~ now?

What time is it in ~ now?

では、練習した英語を使って多くの人と話をしましょう。練習と同じように言えれば一番良いのですが、言いたいことを相手に伝えられれば、完璧でなくても構いません。間違いを気にせず積極的に友達と話しましょう。時差の仕組みについて、何か発見できるかもしれませんよ。

9 世界の都市の時刻について、友達に質問したり教えたりする。

積極的にコミュニケーション活動に取り組ませる。

**ここが大切!**  
コミュニケーション活動には、少なくとも10分程度は時間をとりたい。

9 活動を始めさせ、支援する。

OK. Are you ready? Let's start.



\* 5分程度経ったら、AとBの役割を交代させる。

OK. Stop talking.  
Then please change a role each other.

(話すのをやめて、AとBの役割を交代してください。)

\* さらに5分程度経ったら、活動を終了させる。

OK. Let's stop now. (はい、これで終わりにします。)

10 本時の活動を振り返る  
国際理解を深める。

児童の実態によっては、次の内容にも触れてみたい。  
日付変更線  
サマータイム  
地球と太陽の関係 (自転)



東西が広く複数の時間帯を有する国と日本とを比較し、生活習慣の違いについて児童に考えさせることもできる。

5分

11 あいさつ

10 まとめ  
時差の仕組みについて分かったことを整理させる。

時差について、どんなことが分かりましたか。

- ・日本から遠い国ほど、時差が大きい。
- ・でもオーストラリアは時差がほとんどないよ。
- ・縦の線(経度)で決められているからだよ。

すごい。よく気付きましたね。日本から(東西に)遠い国ほど、時差が大きいのです。ワークシートの地図を、こうやって(地球のように)丸めてごらん。そのことがよく分かるよ。

本当だ。 リオデジャネイロは12時間も違う。

時差が大きいと、マナーも大切になります。例えば、国際電話をかけるとき、日本が昼間でも相手の国が真夜中という場合もあるから、常に相手(現地)の時刻を考えて電話をかける必要があるね。

ところで、日本では沖縄と北海道とで時刻が異なりますか。

同じです。日本は、どこにいても同じ時刻です。

では、東西に広い国ではどうだろう。例えば、アメリカでは国内にも時差があるため、遠く離れ場所にいる人と仕事の話をするときに、「あなたの時間の 時までに仕上げてください。」という言い方があるそうです。

他にも、「相手の時間」を考えなければならない場面があるかもしれないね。

では、今日はこれで終わりにします。

11 あいさつをする

OK. That's all for today. Good-bye everyone. See you.

Good-bye. See you.